総合的かつ計画的に環境管理を行うこととする。

第２節　現況と将来予測

1. 現　況

(1) 発生源

昭和52年度における硫黄酸化物，窒素酸化物の年間排出量は，県全域でそれぞれ19,824トン，36,545トンとなっている。

窒素酸化物の発生源別排出量の内訳は，固定発生源では，工場・事業場によるもの14,721トン全排出量の40.3％,民生（家庭）によるもの319トンとなっている。移動発生源では，自動車によるもの19,615トン53.6％，船舶によるもの1,890トンとなっており，工場・事業場及び自動車による排出量で約94％を占めている。

発生源別硫黄酸化物，窒素酸化物排出量（昭和52年度）

物質別／発生源別	硫黄酸化物		窒素酸化物			
	t/年	Nm³/時	t/年	％	Nm³/時	％
工場・事業場	19,824	792	14,721	40.3	820	40.3
民生	－	－	319	0.9	18	0.9
自動車	－	－	19,615	53.6	1,090	53.6
船舶	－	－	1,890	5.2	105	5.2
計	19,824	792	36,545	100.0	2,033	100.0

また，これを広域市町村圏別にみると，硫黄酸化物については，仙台都市圏で15,329トン全体の約77％，石巻圏で2,687トン全体の約14％と続き，この二圏域で県全域の約91％を占めている。窒素酸化物については，工場・事業場からの排出によるものでは仙台都市圏で12,969トン全体の約88％，石巻圏で1,348トン全体の約10％となっており，この二圏域で県全域の約98％を占めている。また，自動車からの排出によるものでは仙台都市圏で11,150トン全体の約57％，仙南圏，大崎圏はそれぞれ約2,200トンとなっている。なお，仙台湾公害防止計画地域における硫黄酸化物の排出量は大規模発生源が多いこともあって17,425トンで全体の88％，窒素酸化物の排出量は27,500トンで全体の75％をそれぞれ占めている。

広域市町村圏別硫黄酸化物，窒素酸化物排出量（昭和52年度）

物質別／発生源	硫黄酸化物	窒素酸化物					
	工場・事業場	工場・事業場	自動車	船舶	民生	計	時間当り排出量